

広報ひの

12月  
特集号

# “ともに生きるまち 日野”を 目指して

## がんばれ!名村選手 東京2025デフリンピックに向けて

2025年に東京2025デフリンピックが開催されます。

デフリンピックとは、耳が聞こえない・聞こえにくい選手のための国際的なスポーツ大会です。デフリンピックの競技であるデフサッカーでは、日野市出身の名村選手が活躍しています。

名村選手が福祉教育ハートフルプロジェクト(※)の授業で日野第六小学校を訪問しました!お話の後にデフサッカー体験を行いました。

※日野市独自で実施している福祉教育。子どもたちが一人ひとりの多様性や違いを大切に、お互いを認め合える育ちを促すよう取り組みを進めています



合図にフラッグを上げたりしているわ

見て分かるような工夫がされているんだね



▲手話で「デフリンピック」を表している名村選手

なむら まさのり  
名村 昌矩選手

- ・潤徳小学校
- ・日野第三中学校
- ・野津田高等学校

デフサッカー日本代表候補選手で、令和5年9～10月に行われた第4回ろう者サッカー選手権大会準優勝。11月30日から開催される第10回アジア太平洋ろう者競技大会メンバー選出。

### 〈名村選手からのメッセージ〉

日野第六小学校で授業を行った際、私の生い立ちなどを熱心に聞いていただき、メモをしっかりと取られていて、とてもうれしかったです。私にとっても大変いい時間になりました。

日本初開催の東京2025デフリンピックに向けて、これからも日々精進し、優勝を目指します。ぜひ応援よろしくをお願いします。

初の  
東京開催!

## 東京2025デフリンピックを応援しよう!

来年2025年に、東京でデフリンピックが開催されます。第1回デフリンピックは1924年にフランスで行われ、東京2025デフリンピックは記念すべき100周年の大会です。

デフリンピックでは聞こえない・聞こえにくい選手にスタートの合図や審判の合図を伝えるために、ランプを使用したりフラッグを上げるなど、見て分かるような工夫をしています。この記念すべき東京2025デフリンピックにぜひご注目ください!

大会期間：2025年11月15日(土)～26日(水)(12日間)  
 参加国：70～80カ国・地域  
 選手数：約3,000人  
 競技数：21競技



# 障害のある方の日常やお仕事をご紹介します！

障害について知り、より身近に感じていただくために、日常生活やお仕事に関するインタビューを掲載します。今回は、オストメイト(※)の鮫島京子さんへお話を伺いました。

## ※オストメイトとは

さまざまな病気や事故などにより、お腹に排泄のための「ストーマ(人工肛門・人工膀胱)」を造設した人です。ストーマ用装具を装着することによって、手術前と同じように社会生活を送ることができます。

## 鮫島京子さんのご紹介

オストメイトとして苦勞された経験や、看護師としてお仕事をされていた経験を生かし、心理カウンセラーや免疫力アップマスターカウンセラー、都立多摩総合医療センターの相談員など、多方面で障害や病気についての悩みを持つ方を手助けする活動をされています。



### Q 好きなものや趣味はありますか？

A 趣味は、フラワーアレンジメントやガーデニングで、1番好きなお花は「オダマキ」です。あと、食べることが大好きです。



### Q モットーはありますか？

A 前向きに考えること、そして笑うことです。辛いことは笑って吹き飛ばし、過去を振り返りません。後ろを向いては、前に進むことができないので！

### Q オストメイトになられて大変だったことはありますか？

A 初めのころは、トイレに関する不安があり、車でしか移動できず大変でした。ですが、今ではだいぶ慣れたこと、また事前にオストメイト用の設備があるトイレの場所を調べておくことで不安が減り、病気になる前と同じように、車以外でも外出できるようになりました。

### Q どんな時でも笑顔で元気過ごすための秘訣は何だと思われますか？

A ストレスや不安をためないことだと思います。ささいなことでも1人で悩まず、誰かに話したり相談することが大切です。

### Q 鮫島さんには、日野市で「身体障害者相談員」(※)としてご活躍いただいています。相談員を引き受けてくださった理由を教えてください。

※「身体障害者相談員」の説明は、3ページ上部をご覧ください

A 今まで苦勞をしてきた経験を基に、少しでも障害や病気に関する悩みを持つ方たちの力になりたいと思ったからです。



鮫島さんの前向きな人柄が、お答えいただいた内容からも伺えたと思います。このインタビューを通して、少しでも障害を理解し、障害のある方を身近に感じていただけましたでしょうか。障害のあるなしに関わらず、さまざまな方が地域で共に暮らしています。市ではこれからも、障害や障害のある方への理解を促す記事を掲載していきますので、ご注目ください。



# 「身体障害者相談員」「知的障害者相談員」とは

心身に障害のある方やそのご家族からの相談を電話などで受ける民間の協力者です。障害のある方やその保護者の方など、5人の方に活動をしていただいています。障害や病気のことなどで気になることやお悩みについて、安心してご相談ください。



## 身体障害者相談員 鮫島 京子さん(内部障害)

今まで苦勞をしてきた経験を基に、少しでも悩みを持つ方たちの力になりたいと思っています。お気軽にご相談いただければうれしいです。

相談先 ☎090-5303-4299



## 身体障害者相談員 堀場 照美さん(聴覚障害)

聴覚に障害のある方たちが、安心して暮らせる日野市になってほしいと願っています。お気軽にご連絡ください。

相談先 FAX 042-584-6693



## 身体障害者相談員 高島 亮樹さん(視覚障害)

私自身が力になれないことでも、力になってくださる方とのパイプ役になります。お気軽に相談してください。

相談先 ☎080-1092-3473

✉ gaina@hari-seitai.com



## 知的障害者相談員 富張 理子さん

ダウン症の子を育ててきた経験などを生かしながら、できる限り力になります。なんでも聞いてください。

相談先 ☎042-593-3626



## 知的障害者相談員 中野 明美さん

知的障害の子を育ててきた経験などを生かして、誰かのお話し相手になれたらいいなと思っています。お気軽にご相談ください。

相談先 ☎042-592-3136



# 待ってください！ 無意識の差別をしていませんか？



## 日野市障害者差別解消推進条例



障害のあるなしに関わらず、誰もが互いに人格と個性を尊重し合う共生社会「ともに生きるまち 日野」の実現を目指して、この条例は令和2年に施行されました。条例には3つのポイントがあります。

### 条例のポイント

#### ① 不当な差別的取り扱いの禁止

障害のある方に対し、正当な理由なく障害を理由として、サービスの提供を拒否、制限することや障害のない方には付けられない条件を付けたりすることを禁止しています。

差別をするつもりがなくても、無意識のうちに差別をしまっている場合があります。例えば…

盲導犬などを連れて  
いる方や車いすの方  
の入店を拒否する。



本人ではなく  
介助者だけに  
話しかける。



#### ② 合理的配慮の提供

障害のある方から、社会の中にある障壁を取り除くための対応を求められた際に、負担が重すぎない範囲で対応することを求めています。

例えば…

目が見えない方、見  
えにくい方のために、  
点字メニューを用意  
する。



耳が聞こえない方、  
聞こえにくい方のため  
に、筆談で会話を  
する。



#### ③ 差別の相談窓口の設置

障害を理由とする差別の疑いがある事案が発生した際に、相談できる窓口を設置しています(令和6年11月現在、市内には5カ所)。

日野市 差別 相談

